

令和4年度平取ダム管理支所事業概要

平取ダムは、「洪水調節」「流水の正常な機能の維持」「水道用水の供給」を目的としています。

平成27年1月に本体工事に着手、令和3年11月に試験湛水を開始、令和4年3月に試験湛水終了水位に貯水位を降下させ、堤体及び貯水池周辺地山等の安全性を確認し、令和4年度からダムの機能を発揮することが可能となりました。

平取ダム管理支所では、適切なダムの維持管理を行うことで、ダム下流の河川環境の保全、利水の安定供給や洪水時にダム機能が十分に発揮されるよう努めるとともに、引き続き周辺整備工事を進めます。



平取ダム試験湛水状況 (洪水時最高水位: 令和4年2月13日撮影)

◎沙流川治水計画の概要



平取ダムで洪水調節を行い、二風谷ダムの最大流入量6,600m³/秒を5,600m³/秒へ低減し、さらに二風谷ダムで洪水調節を行い5,000m³/秒を下流河川に放流する計画となっています。

◎平取ダムの役割

＜＜洪水調節＞＞ 二風谷ダムと平取ダムにより、前線や台風などで大雨が降ったときに、沙流川及び額平川から流れ込む水を貯めて川の増水を緩和し、ダム下流地域の洪水被害軽減を図ります。

＜＜水道用水＞＞ 平取町や日高町門別地区で必要となる水道用水を安定して供給し、地域の方々の暮らしを支えます。

＜＜流水の正常な機能の維持＞＞ ダムに貯めた水を下流に流すことにより、ダム下流の河川環境の保全や既得用水等、流水の正常な機能の維持を図ります。

＜＜発電＞＞ (二風谷ダム) 平取ダムからの放流水は額平川を流下し、やがて二風谷ダムの貯留水となります。その二風谷ダムの放流水を利用して、ほくでんエコエナジー株式会社の二風谷発電所において水力発電を行います。この発電量は、日高町門別地区全世帯を賅える能力を有しており、純国産のクリーンエネルギーを供給します。